

TMRobo コマンドインターフェイス

TMRoboは、GUIを使って、入力ファイルと列番号を指定することにより、分析を開始しますが、分析をバッチ処理することができるように、コマンドインターフェイスを作成しました。たとえば、

1. 実行ファイル: C:/PumpkinPyParser/PumpkinPyParser2.exe
2. 入力ファイル: F:/GitHub/PPMP/data/foundation/foundation.csv
3. 列番号: 3

の場合は、以下のようにするとバッチ処理できます。

In [1]:

```
import subprocess  
cmd = 'C:/PumpkinPyParser/PumpkinPyParser2.exe F:/data/foundation/foundation.csv 3'  
subprocess.call(cmd, shell=True)
```

Out[1]:

0

コマンドからGUIを立ち上げる場合は以下のようにします。

In [2]:

```
subprocess.call('C:/PumpkinPyParser/PumpkinPyParser2.exe', shell=True)
```

Out[2]:

0

バッチがわりに Python を使うときは、os.system よりも subprocess.call を使おう - methaneのブログ
(<https://methane.hatenablog.jp/entry/20110509/1304956974>).